



最上総合支庁ニュース

2025年4月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

※「最上エコポリス通信」は2025年4月号から
「最上総合支庁ニュース」に誌名変更しました。



最上総合支庁マスコット
もがみる

発行元 最上総合支庁総務企画部総務課
総務課 総合案内窓口
電話：0233-29-1360
FAX：0233-23-2605



最上総合支庁長就任のごあいさつ

最上総合支庁長就任にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年7月、最上地域を過去最大級の豪雨が襲い、2名の尊い命が奪われるなど、各地に甚大な被害をもたらしました。最上総合支庁としては、この災害を受け、被災地の日常を一日も早く取り戻すべく、各種の対策を進めておりますが、さらに体制を強化するため今年度新たに「最上地域豪雨災害復旧対策室」を設置したところであり、復旧・復興の取組みを加速してまいります。

私は、最上総合支庁の勤務は初めてですが、最上地域は豊かな自然、それらを活かした農林業をはじめとする産業、伝統ある文化、温かい人柄に恵まれた魅力的な地域と感じております。これらの特長を活かし、市町村、関係機関の皆様と地域一丸となり、最上地域の産業振興や観光誘客・交流人口の拡大、地域医療福祉の充実等に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



最上総合支庁長
齋藤千賀子

最上地域空き家活用フォーラム

2月7日、空き家を活用して地域に活気を取り戻す取組みを共有し、解決策を模索する場として「最上地域空き家活用フォーラム」を開催し、120名の方にご参加いただきました。

記念講演として、国土交通省国土政策局地方政策課 酒井 達朗氏から「地域力を高める二地域居住のすすめ」と題し、地方への人の流れの創出・拡大に有効な二地域居住の取り組み状況についてご講演をいただきました。

また、事例紹介として高知県梼原町まちづくり産業推進課 魚濱 聡海氏から、人口3,200人の町が240人以上の移住者を呼び込んだ空き家施策についてご紹介いただきました。

フォーラム開催後、市町村では新たな取組みも始まっており、引き続き最上地域の空き家活用に繋げてまいります。



[建築課 29-1418]

山形県県土づくり感謝状伝達式（令和6年7月25日からの大雨災害対応関係）

県では、令和6年7月25日からの大雨により発生した災害において、発災直後から道路や河川等の応急復旧工事や応急仮設住宅の建設、災害査定等に向けた調査設計などに多大なる御尽力をいただいた、120の企業や団体の方々へ感謝状を贈呈することといたしました。

このうち、最上総合支庁では、2月27日に23の建設会社・建築会社と32の測量・設計会社、あわせて55の事業者に対して建設部長が知事からの感謝状を伝達いたしました。

この感謝状は、道路・河川等の美化や安全の向上などに活躍いただいた方々に対し、例年11月に県が贈呈しているものですが、災害査定が無事完了したことに感謝の意を表すため、本格的な復旧・復興に向かっていくこの機に贈呈することとしたものです。

県としましては、1日も早い復旧・復興に全力で取り組むとともに、安全安心に暮らせる山形県の実現に向け、更なる県土の強靱化にも努めて参りますので、引き続きお力添えくださいますようお願いいたします。

[建設総務課 29-1391]



輝く若手に拍手！ 最上地域農林水産業若者表彰式

最上地域農林水産業若者賞は、農林水産業分野で活躍する若者の優れた功績や成果、地域課題の解決に向けた地道な取り組みを顕彰するものです。これまでに22の個人・団体を表彰してきました。

2月7日の表彰式では、令和6年度の受賞者に選ばれた高倉智さん（金山町）と長沼亮介さん（舟形町）に対し、柴崎支庁長（当時）から表彰状が授与されました。

高倉さんは金山町森林組合に所属し、林業の担い手不足や高齢化の課題解決に取り組んでいます。特に、ドローンを活用した空撮や苗木の運搬など、作業の効率化を進めているほか、町内の小学生向けの出前講座を実施し、次世代に林業の魅力を伝えていることが評価されました。

長沼さんはコメ農家として「つや姫」や「はえぬき」を生産し、栽培技術の向上に努めるとともに、離農者の農地を引き受け、地域農業の維持にも貢献しています。また、高品質な「つや姫」の生産を目指し、地域の農家への指導も行っていることが評価されました。

お二人の取り組みは、最上地域の農業・林業の未来を支える重要なものです。今後のさらなる活躍が期待されます。

[地域産業経済課 29-1307]



令和6年度健康づくり大賞 健康経営部門 管内企業2社 受賞！

健康づくりに積極的に取り組む企業や団体等を顕彰する「やまがた健康づくり大賞」の表彰式が3月7日山形県自治会館で行われました。最上管内では健康経営部門で、山形航空電子株式会社と東舗工業株式会社が受賞しました。管内での受賞は初めてとなります。主な取り組み内容は以下のとおりです。

山形航空電子株式会社

- 平成30年から保健師が駐在しており、保健指導や社内での健康増進事業を充実させている。
- 最上保健所と合同で社員食堂における「おいしい適塩ランチ」の提供を行っている。
- 子育てしやすい環境づくりとして各種休暇制度や育児アシスト制度を設けている。



東舗工業株式会社

- 健診日時を会社があらかじめ指定し、健診日には工事をストップすることで健診を受けやすい環境を整備している。（健康診断、特定健診、がん検診等の受診率は100%）
- がん検診やがんリスク検査、インフルエンザ予防接種等を全額会社負担で受けられるようにしている。



従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業や団体を増やしていけるよう、職域での健康づくりを周知して参ります。

[地域健康福祉課 29-1267]

新庄・最上ジモト大学2024 Playback

--SNSで情報発信中--



Facebook

Instagram

地域の大人と高校生が地域のことを本気で語り、学び、交流する場である「新庄・最上ジモト大学」。
昨年度は、過去最多の41プログラムを実施し、こちらも過去最多の延べ964名の高校生に参加いただきました。また、8月には最上地域の若者を対象とした大交流会「居盛家（いざかや）フラツとホーム」を、12月には高校生と大人と一緒にジモト大学のオリジナルプログラムを考案するイベント「ジモト大学チャレンジラボ」を開催するなど、ジモト大学の活動の輪がさらに広がった飛躍の1年になりました。



各種プログラム（左：自衛隊、右：大蔵村）

居盛家フラツとホーム

ジモト大学チャレンジラボ

今年度でジモト大学は9年目を迎えます。昨年度に引き続き、魅力ある多彩なプログラムやイベントを開催し、地域の新たな活力を生み出せるよう、地域一体となって取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1236]

“ユキノモガミデトノウ” ～amazing mogami テントサウナイイベント開催～

最上地域観光協議会（事務局：観光振興室）では、雪を活かした最上地域の冬のコンテンツを提案し、誘客促進を図るため、2月2日は「とざわ雪あそび」と、そして2月9日は「神室雪まつり 2025」と同時開催で、テントサウナイイベントを実施しました。

“ユキノモガミデトノウ”をコンセプトとし、フィンランド式テントサウナで心も体も暖まったあと、雪に囲まれた大自然の中で“ととのう”体験を楽しんでいただきました。なんと参加者の中には雪の中に飛び込む方も！皆さん各々の楽しみ方で参加されていました。

また、本イベントは管内市町村の冬イベントとの同時開催で実施したことで、会場付近には雪遊びの体験や飲食店の出店等があり、テントサウナとあわせて最上の冬イベントを楽しんでいただくことができました。

[観光振興室 29-1311]



インバウンド向けガイド研修を実施しました！

最上地域観光協議会（事務局：観光振興室）では、今後拡大が見込まれるインバウンド需要に対応するため、最上地域のガイドや観光業関係者を対象に、2月20日は座学研修、2月27日は現地研修として、インバウンド向けガイド研修会を実施しました。

座学研修では、インバウンドガイドの心構えをはじめ、欧米豪や中華圏（特に台湾）のインバウンド事情とガイドのポイントについて講師から説明していただきました。

現地研修は山寺で行われ、山寺外国語ガイド Yamaderans を講師に、Yamaderans の取組について説明いただき、その後山門エリアのガイドツアーを実際に体験しました。

座学研修は20名、現地研修は12名の参加があり、今後のツアーガイドに活かしたいなど、参加者からは満足のお声を多くいただきました。

[観光振興室 29-1311]



座学研修



現地研修



「最上産地研究室研究情報 園芸セミナー」を開催しました

2月28日、最上総合支庁産地研究室で開発した最新の技術等を紹介する「園芸セミナー」を開催し、最上地域の生産者や関係機関・団体の担当職員など40名の方に参加いただきました。

管内の主要品目であるニラ、アスパラガス、トマト、山菜や、近年管内で普及している「やまがた紅王」や「シャインマスカット」などに関する研究成果を紹介するとともに、7月の大雨被害に係る調査結果と技術対策について情報提供を行いました。

参加者からは、質問や意見に加えて生産現場の事例や課題等の情報が多数寄せられ、活発な意見交換が行われました。

今回得られた貴重な意見を基に地域課題を抽出し、課題の解決に向けた新技術の開発に取り組んでまいります。

[産地研究室 22-2201]



「最上地域新規就農者研修会」を開催しました

3月4日、「ゆめりあ」を会場に、この春、新しく農業を始める方等を対象に、「最上地域新規就農者研修会」を開催しました。参加者は新規就農者等15名、関係機関担当者等全体で50名の参加となりました。

研修会では、新規就農者を支援する研修メニューや経営開始にあたっての補助事業の紹介を行いました。その後、地域や品目に分かれて新規就農者や就農希望者からの栽培技術習得や農業機械・施設の導入時の支援、資金繰り、直面している悩みなどの具体的な相談があり、管内の農業者のリーダーである農業士や市町村、JA、農サポやまがた、東北農林専門職大、普及課等の職員から助言を行いました。農業技術普及課では、これからも関係機関と連携して、新規就農者が着実に農業で自立できるよう、強力に支援してまいります。

[農業技術普及課 29-1322]



令和6年度に「達者 de 菜」ブランド研修会を開催しました！

3月5日、新庄市民文化会館において、最上地域のにら生産者及び関係者を対象に、にら「達者 de 菜」ブランド研修会を開催しました。最上地域では、管内の3JAで組織する「最上広域にら部会」の会員が出荷するにらを『達者 de 菜』のブランド名で、全国に出荷しています。

研修会には生産者等130名が参加し、肥料メーカーから講師を招き、高温下でも品質の高いにらを生産するための生産資材の使用法や、豪雨の影響を軽減するための対策について学びました。

また、省力化対策として最上産地研究室で確立した「夏まき越冬苗」の管理技術の紹介と、普及課から先進地である高知県の状況について報告を行いました。今後も、産地強化に向けた技術支援を行ってまいります。

[農業技術普及課 29-1330]



最上地域の素材生産と特用林産の活性化を目指して

最上地域は、スギを中心とする素材（原木丸太）ときのこの生産が盛んな地域ですが、しいたけやなめこ等の菌床栽培に必要な広葉樹オガ粉は地域で生産されていません。「なぜ地域の広葉樹オガ粉が使えないのか」「どうしたら使えるようになるのか」という疑問を解くカギを見つけるために、関係者約50名が一堂に会し、現在、オガ粉の供給をいただいている秋田県仙北市の高谷林業株式会社常務取締役松田吉生氏を講師に招きセミナー（勉強会）を開催しました。

今回のセミナーでは、地域の素材生産者ときのこ生産者が、講演の中での現状と課題や事前に行った実態調査の結果を踏まえた上で意見交換を行い、最上産オガ粉の状況や課題等について理解・共有することができました。

今後とも、こうした取組みを継続し、地域の活性化につながるよう努めてまいります。

[森林整備課 29-1349]



[セミナーの様子]

ふれあいの道路愛護団体及び河川愛護活動団体等交流会の開催について

2月27日、「山形県ふれあいの道路愛護事業」及び「山形県ふるさとの川愛護活動支援事業」に携わる団体・企業・市町村を対象に交流会を開催しました。団体・企業の方々には、日頃から県管理の道路・河川においてゴミ拾いや草刈りなど美化活動等に取り組んでいただいておりますが、近年、人員の高齢化や参加者の減少などにより活動が制限される等の課題を抱えられています。

今回の交流会では、横のつながりを意識していただくことを目的に、相互に意見交換等を行い、課題や対応策など情報共有を図りながら、最後はグループごとに取りまとめた意見の発表を行いました。

「グループワークを通して、他団体が抱える課題や取り組み事例などを知ることが出来、今後の活動の参考となる有意義な交流会だった。」

「企業側の視点では気付かない、町内会さんの実情を知る良い機会となった。」等の感想をいただきました。

今後もこのような機会を通じて、道路・河川愛護の考えが地域に浸透し、当事業の活性化が図られるよう努めてまいります。

[建設総務課 29-1376]



最上地域医療的ケア児支援連絡会を開催しました

医療的ケア児が最上地域において安心して生活を営むことができるよう、関係者同士の情報交換と連携体制の構築を目的として、3月11日（火）最上地域医療的ケア児支援連絡会を最上センター薬局会議室にて開催しました。

今回は、災害時の個別避難計画の作成に関する取組紹介の動画視聴後に、県内の医療的ケア児の状況と関係機関の取組みや支援状況を共有し、災害時に速やかに避難行動がとれるように支援者間で情報・意見交換を行いました。

最上総合支庁では医療的ケア児の支援者（主治医、相談支援専門員、訪問看護師等）とともに、市町村（保健・福祉・防災担当）による災害時（大雪による停電を含む）の個別避難計画の作成について、支援してまいります。



山形県の医療的ケアが必要なお子さんへの支援についてはこちら
<https://www.pref.yamagata.jp/090004/kenfuku/shogai/iryo/ikeacd.html>



[子ども家庭支援課 29-1361]



進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～



最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度第4回目として、3月4日に新庄市立八向中学校1年生を対象に開催しました。今回は、言語聴覚士・臨床検査技師・介護福祉士を講師にお迎えして、仕事の内容やこの仕事を選んだ理由、最上地域で働く魅力などについて講演いただいた後、各部屋に分かれて体験学習を行いました。

生徒たちは、嚥下の時の音を聴診器で聴いてみる体験（言語聴覚士）、細胞観察体験（臨床検査技師）、移動介護体験（介護福祉士）などに興味深く取組み、医療・介護分野への興味・関心が高まったようです。



[保健企画課 29-1257]

豪雨災害からの復旧に向けて～対策室を設置～

令和6年7月からの豪雨災害により、当地域の各地において甚大な被害を受けました。その早期復旧に向け、災害復旧のための事業を迅速に、また、効率的に推進していくため、令和7年4月から、最上総合支庁に新たな対策部署が設置されました。

《新設》 最上総合支庁建設部河川砂防課内 『最上地域豪雨災害復旧対策室』

＼地域住民の皆さんの地域づくり活動を応援します！／

最上地域の住民が地域の魅力を高め、地域への誇りを持ってもらうため、地域の活性化や課題解決につながる主体的で継続的な活動に要する費用の一部を補助します。

- 補助金名：最上の魅力向上による地域づくり支援事業費補助金
- 募集期間：4月10日（木）～ **5月30日（金）[必着]**
- 助成内容：補助対象経費の1/2以内の額を助成（最大15万円）

[連携支援室 29-1239]

募集中！

詳細はこちら
(県HP)



<https://www.pref.yamagata.jp/314001/soumu/r7miryokuhojyo.html>

有毒植物による食中毒に 気をつけましょう！

スイセンをニラと間違えるなど、有毒植物を野菜や山菜と間違え食べる食中毒が発生しています。誤食を防ぐため、次のことに注意しましょう。

★食用の植物と確実に判断できない植物は、**絶対に採らない・食べない・売らない・譲らない。**

★山野では、**山菜と有毒植物が混生**することがあるので、慎重に採りましょう。

★山野草を食べて、異常を感じたときは、残品を持って早急に医療機関を受診しましょう。



有毒：スイセン
ニラのような匂いはない
丸型の球根がある

[保健企画課生活衛生室 29-1261]

5月31日は「世界禁煙デー」 5月31日～6月6日は「禁煙週間」

たばこは脳卒中や心臓病、慢性的な肺疾患、糖尿病、慢性腎臓病などの生活習慣病を引き起こすほか、多くのがんの原因になります。これらの病気のリスクは喫煙を開始する年齢が早いほど増加します。

また、たばこを吸っていないのに、たばこの煙を吸わされてしまう「受動喫煙」により、周りの人の健康に大きな影響を与えることが明らかになっており、様々ながんや心臓病、子どもの喘息・中耳炎のリスクを高めるとされています。

令和4年県民健康・栄養調査の結果では、山形県全体の喫煙率は17.2%ですが、最上地域は22.7%と高い状況です。

自分のために、周りの人のために、禁煙に取り組んでみませんか？ [地域健康福祉課 29-1267]



「適塩ランチ」でおいしく健康に！ 6年目を迎える「おいしい適塩ランチ」

今年度も年間4回の提供を予定しています。

場所：最上総合支庁「千起」
時間：11時半～14時
日時：6/19(木)・8/19(火)
11/19(水)・3/19(木)



「適塩ランチ」では、食塩相当量を2.5g以下(県の食塩摂取目標量8gの3分の1以下)に設定し、野菜を180g以上使用(1日の野菜摂取目標量350gの半分以上)しています

一般の方もご利用できますので、適塩でもおいしい野菜たっぷりのメニューをお試しいただき、毎日の食生活の参考にしてはいかがでしょうか。



[地域健康福祉課 29-1267]

食べる力が低下した高齢者向けの調理動画 & 災害時にも役立つクッキング動画が完成！

山形県 YouTube チャンネルに掲載されています。ぜひご覧いただき、ご活用ください。

【家族と同じ献立で食べやすくする方法①②】



①



②

【アウトドアクッキングで防災訓練】

今できる
備えをして
おきましょ
う！！



[地域健康福祉課 29-1267]